

平成25年度 公益財団法人信託資本財団 事業報告書

目次

ページ

I. 基本方針 2

II 事業内容

1. 融資事業（公益目的事業1） 2-5

2. 知恵・知見の蓄積事業（公益目的事業2） 5

3. 助成事業（公益目的事業3） 5-8

4. 社会デザイン事業（収益事業1） 8-9

5. 社会企業家育成事業（収益事業2） 10-12

III. 管理部門

1. 業務執行体制の整備と強化 12

IV. 会計報告 12

【添付資料】

添付資料1 平成25年度 正味財産増減表 内訳

添付資料2 平成25年度 貸借対照表 内訳

I. 基本方針

当年度は、公益事業、収益事業共に、自然資本と社会関係資本の価値の質的向上と価値の量的増大につながる事業の支援を行うために、以下の5事業を軸に事業を実施した。

また、京都オフィスを新たに開設し、関西圏での事業展開を本格的に開始した。

- (1) 社会的事業に対し融資を行う。
- (2) 融資事業から獲得できる人と人との関係性や知恵・知見を蓄積し、新たな人間関係を提供できる仕組みを構築する。
- (3) 寄付者が特定の事業やテーマを指定して寄付をすることが出来る「事業指定助成」事業を行う。
- (4) 獲得した知見・知恵や人的関係を使って、企業や自治体が求める社会責任的 事業支援を行い、場合によっては事業化に携わる。
- (5) 社会企業家育成の機能を構築する。

II. 事業報告

1. 融資事業（公益目的事業1）

当年度は、農林水産畜産業、環境、福祉、医療、教育、人権など、「信頼」関係の向上と増大につながる領域の事業に対しての融資事業を開始した。

■融資実績

当年度の融資実績は、通常融資（第8,9,10,11期）を5件実施し、融資合計は、1,500万円であった。また、つなぎ融資は1件実施し、融資合計は100万円であった。したがって、当年度の融資事業実績の合計は6件となり、融資総額は1,600万円であった。

また、融資先からの返済に関して、当年度は貸倒等は発生しなかった。

また、新しい融資制度として、京都信用金庫との協働融資「ソーシャルビジネス共感融資」を6月から開始し、1件の認定を行った。

(1) 通常融資

◆第8期融資

- ・募集期間：2012年11月1日～1月18日
- ・申し込み件数：3件
- ・第1次審査通過事業：0件

◆第9期融資

- ・募集期間：2013年2月15日～4月19日
- ・申し込み件数：3件
- ・第1次審査通過事業：3件
- ・融資審査会実施：2013年6月18日
- ・融資件数：2件（株式会社ラボアンドタウン、株式会社ウィルモア）
- ・**融資金額合計：600万円**

◆第10期融資

- ・募集期間：2013年5月20日～7月5日
- ・申し込み件数：3件
- ・第1次審査通過事業：2件
- ・融資審査会実施：2013年9月3日
- ・融資件数：2件（株式会社和える、NPO法人グリーンズ）
- ・**融資金額合計：600万円** ※現在契約中のものを含む

◆第11期融資

- ・募集期間：2013年8月2日～10月4日
- ・申し込み件数：4件
- ・第1次審査通過事業：2件
- ・融資審査会実施：2013年12月10日
- ・融資件数：1件（一般社団法人スマイルゲート）
- ・**融資金額合計：300万円** ※現在契約中のものを含む

【融資内訳】

	法人・団体名	融資金額	返済期間
①	株式会社ラボアンドタウン	300万円	24ヶ月
②	株式会社ウィルモア	300万円	24ヶ月
③	株式会社和える	300万円	24ヶ月
④	NPO法人グリーンズ	300万円	24ヶ月
⑤	一般社団法人スマイルゲート	300万円	24ヶ月
⑥			
	合計	1500万円	

(2) つなぎ融資

- ・申し込み件数：3件
- ・融資件数：1件
- ・融資金額合計：100万円

【融資内訳】

	法人・団体名	融資金額	返済期間
①	NPO 法人まあむたかた	100万円	3ヶ月

■融資原資状況

項目	金額
融資済み金額	1,656万円
融資原資残金額	1,068万円
融資原資合計	2,724万円

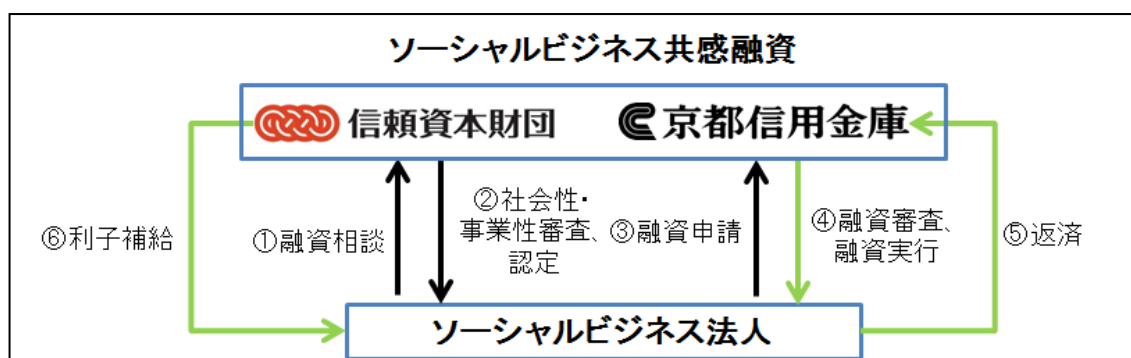
■融資事業対目標比率（年間）

	項目		年間目標	実績	達成率
(1)	通常融資	件数	4件	5件	125%
		金額	1,200万円	1,500万円	125%
(2)	つなぎ融資	件数	4件	1件	25%
		金額	1,100万円	100万円	10%

(3) 協働融資

当年度は、新しい融資制度として、京都信用金庫との協働融資「ソーシャルビジネス共感融資」を6月から開始した。

<事業全体図>



■融資条件等

融資対象：京都府内の京信営業エリア内に主たる事務所を有し、信頼資本財団の推薦を受けた法人（営利・非営利不問）

資金使途：ソーシャルビジネスを行うために必要な運転資金、設備投資等

融資金額：最大2,000万円

融資期間：運転資金：5年以内、設備投資：10年以内（耐用年数の範囲内）

融資の利率：年2.0%（固定金利）※信頼資本財団が融資先に利子補給します（実質無利子）

担保：原則不要

保証人：代表者の特定保証 ※別途信頼資本財団の求める信頼責任制度を適用

返済：毎月 元金均等返済

- ・申し込み件数：2件
- ・融資推薦認定・助成件数：1件（株式会社坂ノ途中）
- ・助成対象融資金額合計：500万円（5年）

■京都ソーシャルビジネス共感ファンド

ソーシャルビジネス共感融資の利子補給を目的として「京都ソーシャルビジネス共感ファンド」を設立し、京都にある企業や個人に対して寄付を募集した。

受け付けた寄付は、本融資の財団の運営費として10%を除いた額を利子補給（年2.0%の固定金利分）に充てる。

受付寄付額：510,000円（内459,000円を利子補給原資に充当）

③融資形態を現在の通常融資の他に「つなぎ融資」も出来るように内容を変更、営業エリアも滋賀、大阪北部など京信全営業エリアに拡充し、申請数の増を図る（京信との調整要）

2. 知恵・知見の蓄積事業（公益目的事業2）

当年度は、昨年度に引き続き、財団の事業に共感する社会起業家や融資事業を通して提供される社会的事業に関する知恵・知見や人的ネットワークを蓄積・データベース化する「信頼資本蓄積事業」を行った。

ただし、これまで蓄積してきた「信頼資本データベース」内の人間関係資本の活用については、信頼資本ギャザリングや信頼デイなど、融資先、信頼責任者がリアルに集まり、議論ができる場を設定し、知見の可視化、共有を促す取り組みを行った。

3. 助成事業（公益目的事業3）

（1）共感助成

新たに8団体を認定し、助成継続申請を受けた団体と合わせて、当年度末の時点での助成先は、合計で24団体となった。

【新規認定団体】

- ①NPO法人ブリッジ
- ②NPO法人かものはしプロジェクト
- ③NPO法人オンザロード
- ④構想日本
- ⑤NPO法人チームレスキュー
- ⑥一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト
- ⑦公益社団法人日本オストミー協会
- ⑧NPO法人テラ・ルネッサンス

【実施プロジェクトと寄付受付・助成金交付状況】（単位：円）

	法人・団体名	寄付受付金額	助成金交付済金額
■共感助成（通常）			
1	NPO法人アースウォッチ・ジャパン	93,330	90,405
2	NPO法人キッズドア	233,187	192,920
3	NPO法人シーズ 市民活動を支える制度をつくる会	10,568	8,964
4	一般社団法人Japan Treasure Summit	11,600,000	11,788,320
5	NPO法人ブラストビート	2,104	1,684
6	一般社団法人ピースボート 災害ボランティアセンター	3,742,594	1,548,551
7	一般財団法人国際センター	34,135	54,925
8	NPO法人フローレンス（助成終了）	23,482	21,393
9	公益社団法人難民起業サポートファンド	3,638	2,854
10	Japan Healthcare Info	7,111	5,810
11	NPO法人アサザ基金（助成終了）	0	11,192
12	一般社団法人源流地域資源再生ネットワーク	700,000	629,580
13	一般社団法人障害者自立支援協会（助成終了）	33,362	42,296

14	小坪大谷戸会館運営協議会（助成終了）	0	0
15	NPO 法人桜 on プロジェクト（助成終了）	485,156	434,040
16	一般社団法人グッドフードジャパン	0	0
17	NPO 法人ネットワークオレンジ	5,811	4,640
18	NPO 法人 global mission japan	0	0
19	NPO 法人ブリッジ	0	0
20	NPO 法人かものはしプロジェクト	27,586	1,702
21	NPO 法人オン・ザ・ロード	24,782	22,094
22	政策シンクタンク 構想日本	2,333,295	2,085,070
23	NPO 法人チームレスキュー	4,129	2,759
24	一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト	1,100,000	0
25	公益社団法人日本オストミー協会	14,238	0
26	NPO 法人テラ・ルネッサンス	4,400,892	3,509,863
	合計	24,879,400	20,459,062
■東日本大震災復興支援プロジェクト			
1	東日本大震災子ども未来基金	4,313,121	4,246,941
2	震災復興リーダー支援基金【第2期】(NPO 法人 ETIC.)	31,422,856	29,843,605
3	東大三四郎会復興支援ファンド（助成終了）	0	0
4	ビヨンドトゥモロー （一般財団法人教育支援グローバル基金）	6,085,907	7,198,921
	合計	41,821,884 円	41,289,467 円

■助成事業全体寄付受付・助成金交付状況

	項目	寄付受付金額	助成金交付済金額
(1)	共感助成（通常）	24,879,400 円	20,459,062 円
(2)	東日本大震災復興支援プロジェクト	41,821,884 円	41,289,467 円
	合計	66,701,284 円	61,748,529 円

■運営手数料

	項目	金額
(1)	運営手数料	5,529,270 円

※今期より期末に交付時期が到来していない分についても予め運営手数料を計算し 920,442 円を計上している。

■助成事業対目標比率

項目	年間目標	実績	達成率
助成認定件数	50	24	48%
助成金額	45,000,000 円	66,701,284 円	148%
寄付受付額	50,000,000 円	61,748,529 円	123%
運営手数料収入	4,500,000 円	5,529,270 円	123%

4. 社会デザイン事業（収益事業1）

当年度は、社会的事業企画・提案業務を行った。

（1）ラブリースワンプロジェクト

前期に引き続き、スワンベーカリーおよびスワンカフェで販売する商品のプロデュース企画の商品化を行った。

1) ラブリースワン<ガトーショコラ>

2月のバレンタインシーズンにキャンペーンを実施し、好評のうちに終了。引き続きネット販売を継続し、引き菓子などでご注文をいただいた。

【販売実績】

- ・販売総数：661 個
- ・売上：約 40 万円

2) 天使のハーブ入りパン&ラスク<アンジェリカ>

前期に引き続き、夏季限定販売（夏野菜パン）で、スワン直営店（銀座、赤坂、羽田）で販売。ラスクに関しては、ヤマト運輸のドライバー販売商品リストへ掲載され（ポイント交換商品）、安定的に販売を行った。

【販売実績】

- ・売上：約 240 万円

3) ARIGATO! バスフィズ

スワンの日（毎月16日のお客様感謝デー）のノベルティグッズとして、バスフィズ（入浴雑貨）をプロデュース。今回は長野の福祉作業所グループ「ウレシナ」が製造、中のメッセージは東北で被災した岩手県田野畑村の「ハックの家」、同じく花巻市の「松風園」の利用者さんがひとつひとつ手書きしてくださったコラボ商品。⇒現在は商品内容の見直しのため、製造ストップ

【販売実績】

- ・販売数量：600 個
- ・売上：約 7 万円

(2) ファンドレイジング事業での協働

1) オークション会社との共同開発事業

DeNAの子会社モバオクと協働で、3月にオンラインチャリティオークションを実施。

東日本大震災の被災地で復興支援に取り組むNPO（非営利団体）が出品する商品をモバオク上で入札・落札したり、直接寄付することで支援することが可能な、オークションを通じた新しいチャリティープロジェクト。横浜 DeNA ベイスターズの協力を得て、球団選手のチャリティーオークションも並行して開催。

7月には、「モバオクで美味しい社会貢献」キャンペーンを実施。

内容は、日本の美味しい食べ物をモバオクで購入することで、購入代金の一部が発展途上国の子どもの支援に寄付されるプロジェクト。

また、購入する日本の美味しい食べ物も、環境にやさしい農法で作られたり、東日本大震災の復興を応援できる食べ物なので、商品を購入することで、日本国内と発展途上国の両方の社会貢献を一度にできるプロジェクト。

【キャンペーン実績】

<3月のキャンペーン>

- ・モバオク販売売上：306,746円（内ベイスターズチャリティーオークション：18.5万円）
落札者：114名
- ・直接寄付：1,235,000円
- ・合計：1,541,746円
- ・財団売上（手数料）：約12万円

<7月のキャンペーン>

- ・総売上：423,800円
- ・助成金充当額：66,911円
- ・財団売上（手数料）：46,935円

(3) 京都市SB認証設計業務

京都市の中小企業支援施策の一環で、京都市内の第二創業期の中小企業のソーシャルビジネス化を促進するような認証制度の設計を京都市の外郭団体ASTEMより受託。

来年度以降も継続する案件。2013年度：制度設計、2014年度：制度検証、2015年度：制度運用スタート。

- ・受注金額：200万円 ※売上は年度末のため、今期は未計上。

■社会デザイン事業対目標比率

項目	年間目標	実績	達成率
売上金額	10,000,000円	3,940,000円	39%

5. 社会企業家育成事業（収益事業2）

当年度は、京都においてコミュニティ形成や会員獲得を目的とした主催プログラムおよび5周年を記念した「信頼デイ」を開催。その他、外部団体の主催するイベントへの登壇や大学での講義などを行った。

■財団主催プログラム

（1）ソーシャルシネマ・ダイアローグ

社会的課題をテーマとした映画を自主上映し、鑑賞後に、テーマ課題を掘り下げるトークセッションとダイアログ（対話）の場を設け、課題に対する知識や意識を深めることを目的としたプロジェクトを1回/月のペースで開催。

<上映タイトル&スケジュール>

- ・第1回 8/23（金）サバイビング・プロGRESS -進歩の罫 【テーマ：時代】
参加者（申し込み）：34人
- ・第2回 9/13（金）ザ・デイ・アフターピース 【テーマ：平和】
参加者（申し込み）：15人
- ・第3回 10/11（金）パワー・トゥー・ザ・ピープル -グローバルからローカルへ 【テーマ：エネルギー】
参加者（申し込み）：26人
- ・第4回 11/15（金）ヴィック・ムニーズ -ごみアートの奇跡 【テーマ：廃棄物&アート】
参加者（申し込み）：26人
- ・第5回 12/6（金）幸せの経済学 【テーマ：豊かさ】

（2）そもそも談義 in 京都～今こそ、本当の価値についての話をしよう。～（2013年9月9日）

「人間が、幸せや自由を追求した結果として、不幸せになる」という大きな矛盾をはらんだ現状の認識、また、その根本原因となったものは何か、そもそも人間や社会・幸せとは何か、という本質を探究していくプログラム。異なるセクターから複数のゲストをお迎えし、自由で多様なセッションを展開。

<ゲスト>

- ・鬼丸昌也氏（NPO 法人テラ・ルネッサンス創設者・理事）
- ・内田由紀子氏（京都大学こころの未来研究センター准教授）

<ホスト>

- ・熊野英介（公益財団法人信頼資本財団理事長）
- ・参加者（申し込み）：26人

(3) 財団創立5周年を祝う会、信頼デイ (2013年11月2日)

財団創立5周年を記念して11月2日を「信頼デイ」と名づけ、エピソード1から5まで様々な団体と協働しながら、プログラムを終日開催。

- ・エピソード5 (財団創立5周年を祝う会) 参加者 (申し込み) : 76人

■その他

- ①奈良県地域ソリューションビジネス創出支援プロジェクト講師 (2013年2月18日)

【対応：鴨崎】

- ②思考する3. 1 1 (2013年3月16日)

アミタとの共催イベント。震災後の未来を考えるダイアログイベントを開催。(京都)

- ③慶應大学大学院「ソーシャルファイナンス」クラス講師 (2013年7月9日) 【対応：鴨崎】

- ④「サステナブルビジネスを支えるエコシステム創出事業」キックオフシンポジウム 登壇 (2013年7月15日) 【対応：鴨崎】

- ⑤京都流議定書 登壇 (2013年7月19日) 【対応：熊野理事長 (鼎談)、鴨崎 (ファシリテーター)】

- ⑥同志社大学ビジネススクール講師 (2013年7月30日) 【対応：鴨崎】

- ⑦日本ファンドレイジング協会「ファンドレイジング研究会」講師 (2013.10.8) 【対応：鴨崎】

- ⑧立命館アジア太平洋大学 (APU) 「社会連携セミナー」講師 (2013.10.18) 【対応：鴨崎】

なお、今期事業計画に記載のあった、「大規模シンポジウム」「企業向けプロボノマッチング」については、事業計画変更に伴い実施せず、「信頼資本ギャザリング」は参加費を無料にしたため、売上目標は未達となった。

■社会企業家育成事業対目標比率

項目	年間目標	実績	達成率
売上金額 (未売含む)	5,070,000円	820,000円	16%

6. 会員制度

会員制度「信頼衆」を整備し、会員募集を開始した。

「信頼衆」は、静的な会員制度ではなく、自らの思いや意思を持って動的に活動する人々を対象に募集を行った。また、「信頼衆」のように動的にはなれないが財団を応援したいという方を対象とした「財団見守り隊」を合わせて整備して、募集を行った。

項目	年間目標（9～12月）	実績	達成率
新規会員数（個人）	80人	32人	40%
新規会員数（法人）	0社	3社	—
会費収入合計	960,000円	587,000円	61%

7. メディア掲載等

- ①京都新聞 1 1 面（2013 年 6 月 13 日）：京信との協働融資について
- ②日経新聞朝刊（近畿版）35 面（2013 年 6 月 20 日）：京信との協働融資について
- ③読売新聞朝刊（京都版）（2013 年 8 月 22 日）：ソーシャルシネマダイアログについて
- ④京都新聞朝刊（2013 年 8 月 27 日）：ソーシャルシネマ・ダイアログについて
- ⑤ファンドレイジングジャーナル第 17 号（10 月 1 日発行）「ファンドレイザーたち」に寄稿（鴨崎）

Ⅲ. 管理部門

1. 業務執行体制の整備と強化

当年度は、アドバイザーボード 1 名が、無給ボランティアとして事務局運営に参加し、これまでパートタイムとして、財団の経理および事務全般を担っていた 1 名を 4 月より正職員として採用することで業務執行体制の整備と強化を行った。

また、事業プロデューサーとして 1 名を 6 ヶ月の業務委託契約で採用。会員制度の立ち上げ、コミュニティづくりを目的としたイベントの企画運営実施を委託した。

Ⅳ. 会計報告

会計報告内容は、添付資料 2,3「法人法で定める計算書類等」の通りである。

以上